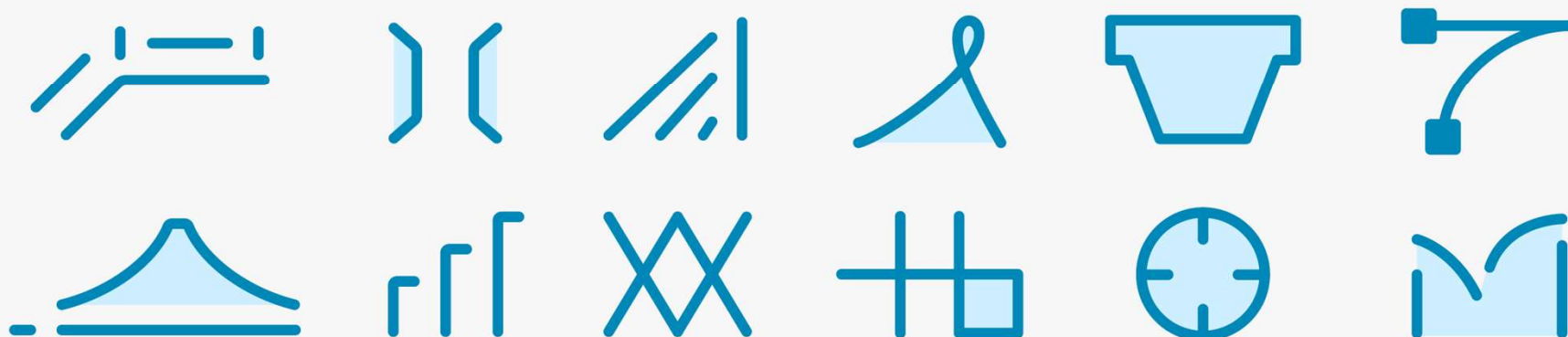


MIDAS CIVIL NX 2025 v1.1

リリースノート

INTEGRATED SOLUTION SYSTEM
FOR BRIDGE AND CIVIL STRUCTURES



Enhancements

拡張機能

■ Pre & Post-Processing

1. Search 機能
2. 電算結果出力(API)
3. 耐震照査
4. 鋼部材設計

3

■ その他 - 不具合の修正

7

1. Search 機能

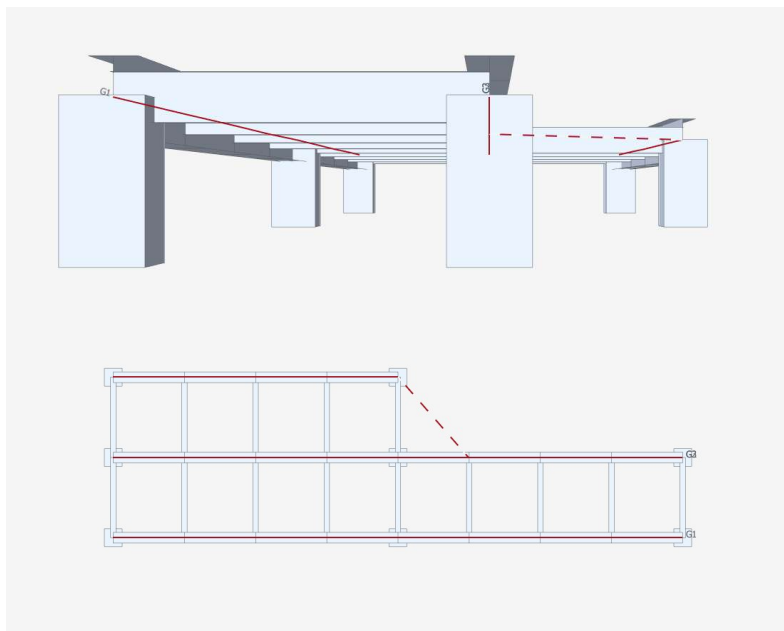
- ・タイトルバーの右端にあるSearchメニューにキーワードを入力すれば、関連する入力メニューと資料を簡単に見つけることができます。
- ・確認できる内容は以下の通りです。
 - ①Function : CIVIL NXの関連する入力メニューが表示され、クリックすれば直接メニューを開けます。
 - ②資料 : オンラインヘルプ、チュートリアル、技術ノート、FAQ

■ タイトルバー > Search

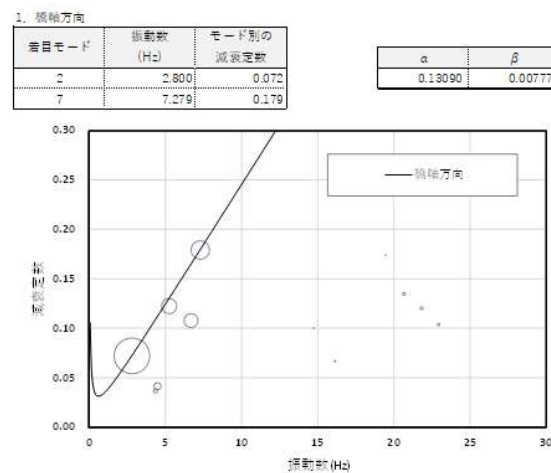


2. 電算結果出力(API)

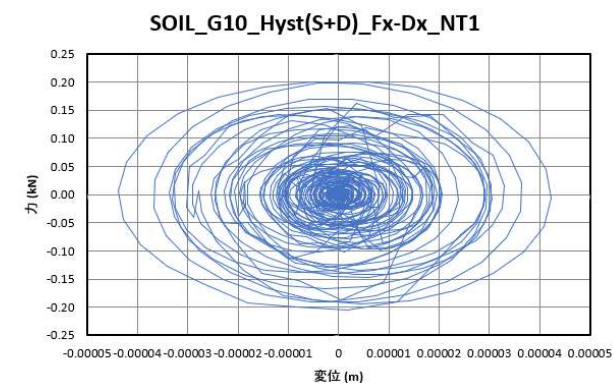
- 以下の電算結果を追加で出力できるようになりました。
 - 汎用リンク要素の境界非線形タイプのプロパティ
 - 格子計算データ図：主桁図、横桁図、荷重ライン図
 - 各種グラフ：スマートグラフ、モード別の減衰定数
 - 水和熱解析の施工段階データ
 - 応答スペクトル結果
 - 組合せ荷重ケースの結果
- 解析結果の表示形式が指数型から実数型に変更されました。
- 結果 > 結果タイプ：一般 > EXCEL > 電算結果出力(API)



◎ 格子解析の主桁図



◎ モード別の減衰定数グラフ



◎ スマートグラフ-免制震装置

3. 耐震照査

- 以下項目に対する改善や修正が行われました。
 - 下部構造グループの“橋脚の材料 = 鋼材”にした場合、“鉄筋の段落し部”を非アクティブ
 - “最大応答変位”、“残留変位”の照査設定時の“自動計算”オプションの追加
 - 支承線が1つの場合、計算書の支承結果に不要な文字が出力されることを修正
- 耐震照査 > パラメータ > 照査対象 > 照査グループ定義(下部構造)
- 耐震照査 > パラメータ > 照査設定 > 最大応答変位[残留変位]

「照査グループ-下部構造」

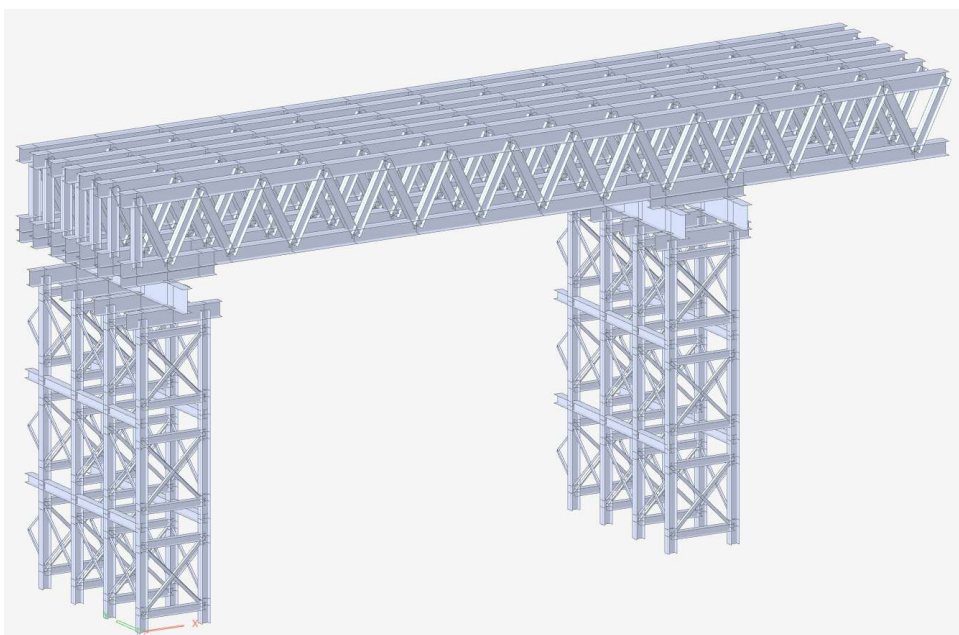
自動計算の場合、
限界状態[降伏状態]時の変位を計算する
プッシュオーバー解析ケースを指定するだけで、
当変位を自動算定します。

「照査設定-最大応答変位」

「照査設定-残留変位」

4. 鋼部材設計

- 以下項目に対する修正が行われました。
 - 検定一覧ダイアログにおける安定性の判定基準で、“軸+曲げ応力度”の項目が考慮されなかった不具合を修正
 - 設計用断面修正で断面を変更してから再検定をした際、検定一覧ダイアログに反映されない不具合を修正
 - 軸力検討を行う部材に対して、「設計変数> 細長比の制限」メニューで“細長比を検討しない”にチェックしても細長比を検討する不具合を修正
- 部材設計 > 設計タイプ^o: 鋼部材設計 > 設計計算 > 計算実行
- 部材設計 > 設計タイプ^o: 鋼部材設計 > 設計断面 > 設計用断面修正



Japan Road II-H24部材検定結果ダイアログ

規準: Japan Road II-H24 単位: N mm 並べ替えOpt. ☐ 断面 ☐ 部材

並べ替え ☐ 部材 ☒ 断面 変更... 更新...

CHK	MEMB COM	SECT SHR	選択	断面名		LCB	Fx	My	Mz	検討条件	軸+曲げ応力度		せん断応力度		合成応力度
				材料	Fy						結果値	許容値	結果値	許容値	
NG	709	5		主桁支持梁	SS400 235.000	Com1	-	+5.7E+7	-246518	y&z	-10.324	94.0000	0.00000	80.0000	0.004

Japan Road II-H24部材検定結果ダイアログ

規準: Japan Road II-H24 単位: N mm 並べ替えOpt. ☐ 断面 ☐ 部材

並べ替え ☐ 部材 ☒ 断面 変更... 更新...

CHK	MEMB COM	SECT SHR	選択	断面名		LCB	Fx	My	Mz	検討条件	軸+曲げ応力度		せん断応力度		合成応力度
				材料	Fy						結果値	許容値	結果値	許容値	
OK	263	1		トラス上弦材	SS400 235.000	Com1	265456	-3.3E+7	6648115	y&z	28.0398	140.000	-6.8587	80.0000	0.010
OK	363	2		トラス斜材	SS400 245.000	Com1	-259574	0.00000	5092625	y&z	-46.002	140.000	-0.4992	80.0000	0.000
OK	19	3		トラス下弦材	SS400 235.000	Com2	133524	5973225	-1.8E+7	y&z	24.0572	140.000	-0.3230	80.0000	0.000
OK	93	4		支点部補強材	SS400 245.000	Com2	-	-507179	3455522	y&z	-8.0513	121.337	2.06511	80.0000	0.000
OK	709	5		主桁支持梁	SS400 235.000	Com1	-	+5.7E+7	-246518	y&z	-10.324	94.0000	0.00000	80.0000	0.004
OK	577	6		支柱上端梁	SS400 235.000	Com1	-54179	+2.1E+8	141635	y&z	-85.268	140.000	-54137	80.0000	0.006
OK	738	7		垂直材	SS400 245.000	Com1	-551710	-274070	-7.9E+6	y&z	-87.449	140.000	-2.8543	80.0000	0.001
OK	585	8		水平材(縦)	SS400 245.000	Com1	60097.3	1361595	263.279	y&z	13.6172	140.000	0.31562	80.0000	0.001
OK	746	9		水平材(横)	SS400 245.000	Com1	5173.65	6544877	-50935	y&z	9.31078	140.000	-3.1649	80.0000	0.004
OK	900	10		斜材(縦)	SS400 245.000	Com1	-42761	-	-	y&z	-25.154	68.2534	-	-	0.000
OK	962	11		斜材(横)	SS400 245.000	Com1	-18639	-	-	y&z	-32.124	50.2740	-	-	0.000

◎ その他 - 不具合の修正

1. マウスの主ボタンを右にした場合のドラック&ドロップの不具合

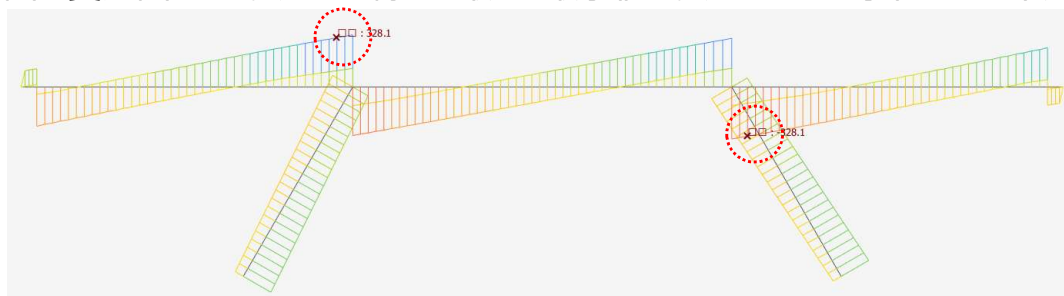
：右マウスの場合、作業ツリーのデータをドラック&ドロップできない不具合を修正しました。

2. 印刷できない

：「ファイルメニュー>印刷」メニューにおいて、モデルビューを直接に印刷できない不具合を修正しました。

3. 分布図やコンター図において、最大値・最小値が文字化けする

：断面力図や変形図などを表示する際に、最大・最小値を表示すると文字化けする不具合を修正しました。



4. スマートグラフのアニメーション再生中にダイアログを閉じると、プログラムが強制終了される

5. “ファイバー断面の解析結果”で断面セルの損傷判定コンター表示の不具合を修正

：「結果>結果タイプ：時刻歴>時刻歴>ファイバー断面>ファイバー断面の解析結果」メニューにおいて、塑性判定コンターを表示する際に一部のセルで数値誤差により判定が間違ふ不具合を修正しました。

